

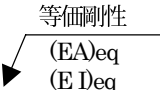
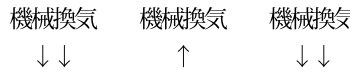
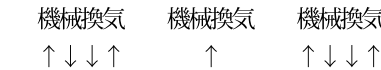


シールドトンネル 正誤表

頁	項目	位置	誤	正
37	3.13【解説】	解説文の3行目	(……参考資料 No.23 参照)	(……参考資料 No.24 参照)
42	解説図 4.1.1	①から4番目	セグメント厚	セグメント高
		①から9番目		
49	解説表 5.2.1	列 粘着力 c(kN/m ²) 行 粘性土 (8<N)	c = 0.5(N/16)	c = 0.5·98(N/16)
52	5.2【解説】(4)	1) の①および②	p _v	p _{vc}
		1) の③	p _{vs} = … (略) … + p _{vc}	p _{vs} = … (略) … + p _{vc} · e ^{-K_{tan}φ · R₀/BI}
60	解説図 5.6.3	図の記号	k · σ	k · δ
76	7.1【解説】(2)	(2)の最後の行	…については、σ _{ca} ≤ f _{ck} /3 として	…については、σ _{ca} = f _{ck} /3 として
77	7.2【解説】	下から1行目	…できるが、許容せん断…	…できるが、コンクリートの許容せん断…
90	8.9【解説】	4行目の(ii)	… (等価剛性梁置換モデル)	… (等価剛性置換梁モデル)
91	解説図 8.10.1	図の説明	等価剛性 	削除
95	式 (解説 8.11.2)	式	$L = \frac{L_1 L_2}{L_1 + L_2}$	$L = \frac{2L_1 L_2}{L_1 + L_2}$
104	9.3【解説】	表 9.3.1	表 9.3.1	解説表 9.3.1
122	参考資料 No. 1	1行目	「蛇行余裕, 施工余裕」	「蛇行余裕, 保守余裕」
126	参考資料 No.5	〔Ⅲ〕の略図		
151	参考資料 No.14	参考表 14.4 の上段	H300 中子形	H550 中子形
157	参考資料 No.16	参考図 16.1	t	h
		下の2行の文章	記載位置の変更	(2)(A)1) の「ただし、…」と「b _e =…」の間に挿入
158	参考資料 No.16	参考図 16.3	t	h
159	参考資料 No.16	上から 2行目 1) 上から 20行目 (1) 下から 3行目 1)	軸力により継手面全体が圧縮領域にある場合	中立軸がボルト位置より引張縁側にある場合
		上から 4行目 2) 上から 22行目 (2) 下から 1行目 2)	継手面の一部に引張領域が生じる場合	中立軸がボルト位置より圧縮縁側にある場合
160	参考資料 No.16	(参考式 16.14)	$k_{st} = \frac{L_j h G}{b} = \frac{L_j h E}{2b(1-\nu)}$	$k_{st} = \frac{2L_j h G}{b} = \frac{L_j h E}{b(1+\nu)}$
		(参考式 16.15)	$k_{st} = \frac{1}{2} \cdot \frac{L_j h (L_j h - A_{bxx}) G}{b_1 (L_j h - A_{bxx}) b_2 (L_j h)}$	$k_{st} = \frac{L_j h (L_j h - A_{bxx}) G}{b_1 (L_j h - A_{bxx}) b_2 (L_j h)}$
162	参考資料 No.17	ここに、φの式中	cos φ + φ	cot φ + φ
163	参考資料 No.18	参考図 18.1	(縦軸) S _y , (横軸) T _s	(縦軸) S _{y0} , (横軸) T _s

054 (シールドトンネル)

165	参考資料No.18	上から10行目の式	$U' = U/\sqrt{2}, L' = L/\sqrt{2}$	$U' = U/\sqrt{2}, L' = \sqrt{2}L$
166	参考資料No.18	(参考式 18.11)	$M_{\max} = \alpha_M \frac{4\pi^2 U}{L} (EI)_{eq}$	$M_{\max} = \alpha_M \frac{4\pi^2 U}{L^2} (EI)_{eq}$
169	参考資料No.19	最後の行	8.8の継手ボルトの...	10.9の継手ボルトの...